

日本肺癌学会 プリセプターシッププログラム 2020 Advanced Course

Special Lecture：光岡 徹哉先生（近畿大学医学部 呼吸器外科）

Q&A進行 堀之内 秀仁先生（教育研修委員会委員）

Closing Remarks：池田 徳彦先生（教育委員会委員長）

Q&A進行 堀之内 秀仁先生（教育研修委員会委員）



2020年6月13（土）14日（日）の開催を予定しておりましたPRECEPTORSHIP RPOGRAM 2020「Advanced Course」を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から10月17日（土）に変更しweb開催いたしました。受講者は45歳以下の若手医師127名よりご参加いただきました。

プログラムは下記の通りです。

時間	内容	担当・講師	
10：00～10：10	Opening Remarks	池田 徳彦	教育委員会委員長
10：10～10：40	Lecture 1：日本肺癌学会の取り組み	弦間 昭彦	日本肺癌学会理事長
10：40～10：50	Q&A	堀之内 秀仁	教育研修委員会委員
10：50～11：20	Lecture 2：生物統計のトピックス	山中 竹春	横浜市立大学大学院 医学研究科臨床統計学
11：20～11：30	Q&A	堀之内 秀仁	教育研修委員会委員
11：30～12：30	Sponsored Seminar：アストラゼネカ株式会社 座長：清家正博 「働くがん患者の仕事を支える一医師に期待される具体的アクション」 「肺がん治療と就労の両立支援 ―がん薬物療法医の目線から―」	高橋 都 池田 慧	岩手医科大学医学部 客員教授 ほか（2ページ目に記載） 神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科 医長
12：30～12：50	Break		
12：50～13：20	Lecture 3：研究費の獲得方法	後藤 功一	国立がん研究センター東病院 呼吸器内科
13：20～13：30	Q&A	堀之内 秀仁	教育研修委員会委員

【参加者アンケート（抜粋）】

- ・次年度も COVID-19 流行が収束していない場合には、Web 開催が最善と思います。後日にオンデマンド配信で視聴できるのは良いと思います。Web 開催の際には次回以降も続けて欲しいです。
- ・COVID-19 の影響で中止になってしまったかと思いましたが、Web で開催していただきありがとうございました。対面式の講演会であればグループワークに取り組むことができたと思いますので、そういった時間がとれなかったのは残念ですがやむを得なかったと思います。また懇親会等で、著名な先生方から直接お話を伺ったり、同年代の志の高い仲間との交流を楽しみにしていたので、COVID-19 の感染状況次第ですが対面形式での開催も是非検討していただきたいと思います。
- ・大変勉強になる有意義なプログラムだと思いました。このようなプログラムで勉強する機会をさらに増やしてほしいと思いました。
- ・web 開催も貴重な機会ですが、内科や外科等、診療科の垣根を越えて同世代の先生方と交流や意見交換ができる場があると、ご高名な先生方からは違った刺激を受けられ、より有意義な機会になっていたのでは？と感じました。今回得られた知見やモチベーションを今後の診療・研究につなげてゆきたいと思います。
- ・Zoom での小グループにわけてのディスカッションや交流など、他の参加者の方とのかかわり、つながりが持てると、それも刺激になるかと思いました。
- ・web 開催の方が、緊張せずに落ち着いて質問ができるので、可能なら web またはハイブリッドでお願いしたいです。
- ・web 開催のため横のつながりはできませんでした。web 開催であってもグループワークができるような内容を追加できれば、繋がりを作ることができるように感じました。
- ・現地で discussion できたりグループワークがあるのは非常に良い刺激になり、また全国各地の同世代のエネルギッシュな先生方とコネクションを作る非常に良い機会にもなるのではないかと思います。しかしながら、私自身のように育児と両立している先生方は遠方への参加が困難な時もあり、web 開催でやっと参加できたのは非常にありがたかったです。よってハイブリッド開催で、参加者に選択できる余地があれば嬉しいのではないかと思います。
- ・著名な先生方の論文作成で使用されている具体的なツールや手法を知ることができて良かったです。学会などでは知り得ないため、このような会ならではの情報だと思いました。
- ・研究費の獲得、論文の作成といった、研究を行う上での前と後の話を聞けましたので、実際に臨床研究をどのように始動させていくのかということも聞ければ、具体的に研究を始めるうえで大きな参考になると思われました。
- ・肺癌に関する研究において、国内で実績を上げている先生もいらっしゃいますが、現在の研究環境からは国外留学は非常に重要に感じております。国外留学を体験された先生方から国外留学の魅力、コネクションの作り方、苦労話等、体験談を掘り下げて、想いや肺癌学会の助成制度（あれば）を伝えて頂けるセッションがあると、意識の高い先生方の刺激になるのでは、と愚行した次第です。
- ・やはりオンラインという特性上今回は期待していたものよりもやや一方通行になりやすかったですが、活躍されている先生方のビジョンを感じることができ、非常に有意義な会となりました。